

1月のコース管理データ

	札幌G C 輪厚コース	レインボーヒルズG C	泉C C	コムウッドG C	三木G C	宇部72C C 江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場			
グリーンキーパー氏名	梶原 隆司	安藤 義雄	寺町 章	向居 捷洋	的場 幸治	河野 藤男	布山 光孝			
所在地	北海道	宮城県	千葉県	滋賀県	兵庫県	山口県	熊本県			
ホール数	18	18	27	18	27	18	36			
開場年月日	1958/8/12	1992/6/8	1979/9/5	1993/4/25	1973/10/27	2000/11/1	1990/8/5			
標高 (m)	100 ~ 132	60	23	258	150	80	555 ~ 480			
芝地管理面積 (㎡)	710,000	600,000	690,000	567,369	530,000	365,000	955,577			
その他管理対象面積	44,000	145,000	350,000	433,000	350000(松喰い対策)	200,000	858,284			
従業員数	7	8	8	6		8	延べ176人			
パート・アルバイト	13	2	11	4		8	0			
外注		なし	あり	あり	あり	有(必要時)	なし			
内容			年間樹木管理、除草剤散布	樹木管理	社員不足分を補うために常時男性3名。バンカー均し、寒冷紗作業のスポット作業をシルバー13名で分担	樹木維持管理 枯木伐採・コース草刈 簡易土木工事				
気温 (右平年差)	-6.4	-2.0 -1.2	2.5 -0.5	1.6	2.4 -1.1	2.4	2.2 0.4			
降水量mm(右平年差)		14.0 -49.3	66.5 -21.6	60.5	42.2 5.0	38.0	72.1 -14.8			
晴天日数	12	17	19	13	23	13	11			
曇天日数	1	10	8	6	4	13	10			
雨天日数			2	4	2	2	5			
降雪日数	18	4	2	8	2	3	5(降雪16日)			
コース管理全般に関して	積雪79cm。クローズ中。冬季機械整備。	12月4日に雪が降ったこともあり、落葉の回収作業が中断。雪解けを待って落葉の回収を再開している。今月も雪のためにクローズ11日。	1/21(土)関東地方は大雪。当倶楽部の積雪量は、平均33cmあり、クローズ期間は1週間となった。全国的に雪による被害を聞いていたが、とうとう関東も雪による被害を受けた。 最近の記憶では、1日に降った雪の量は、最大ではないか?トラクタ-も走れないほど積もってしまった。1月の売り上げは、減収が確定で、年度末3月までに、更にコスト削減を検討せねばならなくなった。	昨年未からの寒波は、1月も続き、降雪日が多く、積雪も10cm前後と根雪状態となり、最低気温も例年よりかなり低く、なかなか融けてくれない。 連日、除雪作業に追われる日々が続いている。融雪剤の散布、乗用タイプ管理車両での雪ふみ、グリーンは人的除雪と従業員総出の作業を実施するが、やっと融けたと思った途端に降雪と頑張り努力が良い結果とならず、苦労の多い1月だった。しかし、全員が力を合わせることでコミュニケーションができたと思う	昨年12月ほどの極端な冷え込みもなく、降雪も少なく、気温は例年よりやや低い程度で推移したため、グリーンに関しては最低限の作業が行えた。 それにしてもゴルフ場は雪に弱く、またそれがなぜか週末にかかることが多いために、毎日の天気予報に注意を払いながら準備を行い、朝の状態を確認する日々が続いている。 スルーザグリーンに関しては、冬期工事としてフェアウェイの超高雑草、ラフのティフトン芝の張替え工事にかなり引き続き2月度も実施予定。	今月は霜の日が多く、グリーンが思つように刈れなかった。グリーンの色が悪く、アントアンが目立つ。その上、月末にイエローパッチが発生した。雪が積もると除雪作業に手間がかかりグリーン面を傷つけてしまい、ダメージの回復に時間がかかる(積雪した雪を簡単に支障なく融かす剤は出来ないものか、早く開発を望む)。年末にグリーンを着色した年明けの積雪等により除雪が原因で色落ちした。 先月の厳しい寒さの後だけに比較的穏やかな気象条件であり平均気温も平年値を上回り、降水量は平年値を下回った。	年明けは3年振りの晴天となり阿蘇山の稜線に昇る初日の出を望み、今年も平穏な1年である事を願いつつ心に期する思いで初日の出を眺める事ができた。最高気温も久しぶりに10度を上回りおだやかな元日であった。 上旬には3日間の積雪による営業クローズが4日間あった。昨年末のクローズも6日間と少なく、1月中旬にはまとまった降雪とともに最高気温が14.7度を記録した。 12月以降無施肥、未着色であったグリーンは緑色が改善され、僅かではあるが刈込み作業では集草バケツに芝カスが回収			
課題・問題点	グリーンは積雪、平均98cm。重い雪が多く、乾雪が少ないように思う	今年6月に開催される東北アマチュア選手権の開催コースとなったため、選手権に向けて最善を尽くしたい。	今回の雪で、グリーン、ティグラウンド、フェアウェイは、融雪剤のお陰で早めに融けたが、新設した乗用カ-ト道の日当たりの悪い部分が最後まで融けずに残った。カ-ト道はホ-ルの外側を通さねばならないので、どうしても日当たりの悪い部分ができる。カ-ト道選定には、日当たりの良さも考慮すべきであった。 雪で冬季作業が遅れている。もう一度工程を組み直さなければならぬ。年間の更新作業時期、方法、農薬、肥料の年間コスト等冬場の間にまとめておきたい。	営業最優先の除雪作業のため、グリーンには木レーキ等の傷も多数でき、融雪剤のカーボンによる黒い箇所や散布時のタイヤ跡が残り少し見苦しい箇所ができてしまった。スノーバー等による後始末と整備を早く予定。積雪が予定以上に早く根雪となったために、雪腐病対策を行ったが、後処理となったために少し気がかりだ。	冬期工事としての張替え作業、排水工事及びグリーン周り、ティグラウンドの不陸補正作業と並行して、シーズン中では作業量の問題で実施できないフェアウェイの更新作業、フェアウェイラインの変更作業、ラフの刈刈作業を2月から3月に行う予定であるが、どちらかスノーバーでの清掃が必要なため、冬の日照時間・量も少ない時期での実施は、天候及び作業量をよく検討しながら、作業方法を決定する必要がある。	イエローパッチ発生に関してはもっと早めに予防散布しておけばよかった。グリーンは施肥量またはN-P-K割合等バランスの改善をはかり、病害に耐える管理をして農薬散布量を減らす努力をしなければならぬ。病害をいち早く予測する動を持たないとよくないだろう。毎年、この時期に土壌pHを計測しているがグリーン・ティグラウンド共に高めなのが問題(前年平均pH8.5前後)で、pH調整を検討している。	先月より継続する秋の落葉清掃も、年明け後、順調にはかど約80%の進捗状況で、管理棟の敷地内に集積される堆肥ストックヤードは見上げるほどの高さになった。さらにフェアウェイのパーチカル作業により排出されたサッチと含ませたストックヤードを埋め尽くす状況で、3月下旬には、嫌気性の微生物資材を混合し、約1年の発酵を経てフェアウェイに散布する。 年明け後、猪被害が発生しはじめその被害は36ホールの広範囲に及んでいる。被害は今のところラフのみであり一箇所当りの面積も小さく、修復に多くの労力を必要としない事は幸いであるが、対応策の検討が急がれる中で明確な手段が見当たらないのが現状である。 ベンククロス(西コース)			
芝品種	ベント	ベント	ベント	ベント	ニミラ・CY-2	A-2	ベンクロス	トネント	クレンショー	
造成・播種・張芝年	H5年に10面播種。H6年に10面張芝	新しいもので8年、古いもので27年	H3年5月	H3年5月	昭和54年	平成15年4月	平成4年5月	西:H10年張芝、南:H10播種、東:H11年播種	造成1998年4月。播種1999年4月~2000年4月	平成元年3月播種
刈高(mm)<メイン:サブ>			4.0	4.0	3.7	3.7	4.2	4.0~4.2	4.0	4.0
刈込回数<メイン:サブ>			2	0	10	10	7	10	17	6
更新作業内容		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
施肥・活性剤・抑制剤等		なし	なし	N1.04-P0.06-K0.98 微量要素剤1回、着色剤1回	N0.4-P0.0-要素2回、着色剤1回	グリーンアピタイトとクロベースを800倍	グリーンリース1.25g/㎡×2回、サンレックス3Gを1.25g/㎡×2回、パーディラッシュN3g/㎡	1/16:ネオハイグラス3号2g/㎡(7-10-25)、1/9:アミEX10号1g/㎡(10-4-4)、1/30:ネオハイグラス3号2g/㎡(7-10-25)	施肥1回(N0.00-P0.00-K0.60-Si1.60)、施肥液体ケイ酸力1回施用	
病害		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	1/27:イエローパッチ発生(部分的)	なし
病害程度									発生初期	
病害対策		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	1/30:ダコニールターフフロアブル1ml/㎡全面散布。今後の経過を見る	なし
コース名称	札幌G C 輪厚コース	レインボーヒルズG C	泉C C	コムウッドG C	三木G C	宇部72C C 江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場			
虫害		なし	なし	なし	なし	なし	なし			
虫害程度										
虫害対策		なし	なし	なし	なし	なし	なし			
雑草		なし	なし	なし	なし	なし	なし			

基礎データ

グリーン

ラフ	病害対策		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	虫害		なし	なし	≡ズ、モグラ	なし	なし	なし
	虫害程度				少			
	虫害対策		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	雑草		スズメカタビラ	なし	なし	スズメカタビラ	スズメカタビラ	一部にスズメカタビラ、ライグラス、飛び出しペントノビル
	雑草程度		少			少	少	少
	雑草対策		カタビラ発生箇所にアーザラン液剤散布予定	なし	なし	除草剤のテスト散布	手取除草	なし
	管理メモ		特になし	その他作業として、低木樹木類肥料散布、備品作成、エッジ切り	融雪剤散布	除草剤テストグリーン周辺のラフのハミダシペント、スズメカタビラ、ブルーグラスに対して、プロバイト0.8cc/m ² とアーザラン0.8cc/m ² を2000m ² 程散布	江畑池コースは樹木が多い訳ではないが所々グリーン廻りに接近している樹木がある。No.7グリーン周りとNo.11グリーン前右(クヌギの木)の落葉が掃いても掃いても落ちる	落葉の清掃、強風による杉の落葉清掃と2ヶ月以上時間が経過しているがいまだ完了しない。早く綺麗なコンディションをとり戻したいのだが、猪の侵入によるコンディションの低下というマイナスの要素の部分に余計な労力が費やされた